



愛知の「働き方改革」取組事例

株式会社オリバー

oliver
www.oliverinc.co.jp

所在地：愛知県岡崎市

業種：総合インテリア製造・販売

社員数：男性 282 名 女性 178 名 (H29.10 月現在)

取組のきっかけ

創業50年を機に、会社として次の50年、またその先50年と会社の存続、あり方、発展を考えていく中、従業員満足度を高めていくことの重要度、必要性について経営陣、経営幹部の胸中に共通認識としてあった。加えて社会の目、流れが「働き方改革」に向いていることもあり、会社として取組むことを決定した。

取組の概要

○ 所定外労働時間削減の取組

- ・ 長年培ってきた業務上のノウハウやデータを最大限電子化しており、イントラネットの整備、拡充により、情報を共有化することで業務の効率を進化させてきた。
- ・ 本社の消灯時間を従前の午後8時30分より1時間早め、業務のスピードアップを図っている。夜の残業を減らすため、全社的に順次進めていくことを決定している。
- ・ 毎週水曜日を「ノー残業デー」と定めている。一部の部署や職種の実状に合わせるため、弾力的な運用を認めてはいるが、全社的な取組として進めている。
- ・ 新しい勤怠管理システムを導入し、本人だけでなく上司も時間把握、管理が容易になった。無駄な残業の排除と業務の効率化を図っている。
- ・ 残業時間管理を強化するため、平成29年10月より専門業務型裁量労働制や事業場外労働のみなし労働時間制を止め、定額残業制度として残業時間の管理をする。残業の事前申請制度を徹底し、残業時間管理を管理職の役目として標準化し、管理職の評価を絡めて運用をしていく。
- ・ 一部の事業所の営業職、デザイン関係職に試験的にフレックスタイム制を導入したが、好評であることから全社的に拡大していくことを決定している。

○ 年次有給休暇取得促進の取組

- ・ 年次有給休暇の計画的付与として年間5日を設定し、取得率の向上に取組んでいる。
- ・ 業務の閑散期に交替で取得できるよう、部署、職種ごとに調整し、配慮することを会社として推奨している。

取組の概要

- 女性活躍について
 - ・ 以前は採用がなかった職種についても女性の採用が実現している。設計、デザイナー、営業職等女性の割合が増えてきた職種もある。顧客対応、成果についての社内外の評価も上昇しており、活躍の場は今後さらに広がっていくものと期待している。
 - ・ 女性の部長も誕生している。昇進、昇格についても男女の別なく進めていくことを考えている。

- オフィスのレイアウトについて
 - ・ 以下の①②をねらい、当社の得意分野である空間作りを具現化したオフィスに改装した。
 - ①共有スペースや接客スペースを、人の動線や視線の追求から導き出した形状、配置にすることで無駄な動きを排除し、安全性の確保、作業効率・生産性の向上を実現する。
 - ②照明の明るさや色、壁の色、窓の位置、採光等の追求から心理負担の軽減等を図り、作業効率・生産性の向上を実現する。
 - ・ 一例として30分以内に会議を終わることをねらい、立ったまま会議をするレイアウトにした会議スペースを設けているが、結果としてねらい通り作業効率、生産性の向上に結びついていると考えている。

現状とこれまでの取組の効果

- 営業上のショールームとして、実際従業員が働いているオフィスを来客に公開しているが、「見られている」「見せている」との意識がメンタル面に作用し、従業員の態度や動きに表れ、作業効率、生産性の向上につながっていると考えている。また離職率の低下や人材募集についても好影響を及ぼしているのではとも考えている。
- 各取組みについての効果は、現段階で日が浅いもの、今後導入予定のものが多いため、しばらく後の結果を待ちたいと考えている。